

## 経済状況及び動向等資料

今後の事業資金融資あっせん制度の方向性について、下記の動向及び実績等から検討する。

### 記

- 1 月例経済報告
- 2 東京都内の中小企業の景況
- 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

## 1 月例経済報告

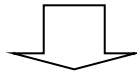
月例経済報告〔内閣府〕

(1) 景況判断(最近3か月間)

<令和8年2月>

景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している。

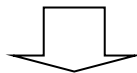
先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。



<令和8年3月>

景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。



<令和8年4月>

景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

(2) 月ごとの主要指標の変更点

	2月月例報告	3月月例報告	4月月例報告
個人消費	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である。
設備投資	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	持ち直している。
住宅建設	弱含んでいる。	弱含んでいる。	弱含んでいる。
公共投資	底堅く推移している。	底堅く推移している。	堅調に推移している。
輸出	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。
輸入	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。
貿易・サービス収支	おおむね均衡している。	おおむね均衡している。	おおむね均衡している。
生産	横ばいとなっている。	横ばいとなっている。	横ばいとなっている。
企業収益	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる。	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる。	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる。
業況判断	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある。
倒産件数	増加がみられる。	増加がみられる。	増加がみられる。
雇用情勢	改善の動きがみられる。	改善の動きがみられる。	改善の動きがみられる。
国内企業物価	このところ上昇テンポが緩やかになっている	緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。
消費者物価	このところ緩やかに上昇している。	このところ緩やかに上昇している。	このところ緩やかに上昇している。

## 2 東京都内の中小企業の景況(東京都産業労働局商工部調べ)

### (1) 最近4ヶ月の景況

調査月	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月	令和8年4月
業況	横ばいで推移	わずかに上向く	横ばいで推移	わずかに下向く
見通し	ほぼ横ばいで推移	2か月ぶりに改善	慎重な見方	慎重な見方強まる

## 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

### (1) 都内の状況

令和8年2月の倒産件数は、160件(前年同月比28.0%増)となった。  
業種別件数ではサービス業(43件)、卸売業(29件)、情報通信業(24件)の順となった。  
原因別では、不況型倒産(販売不振・既往のシワ寄せ・売掛金等回収難)が119件となり、倒産件数における構成比は74.4%となった。

令和8年3月の倒産件数は、138件(前年同月比0.7%増)となった。  
業種別件数ではサービス業(31件)、情報通信業(23件)、建設業(17件)、卸売業(17件)、小売業(17件)の順となった。  
原因別では、不況型倒産(販売不振・既往のシワ寄せ・売掛金等回収難)が98件となり、倒産件数における構成比は71.0%となった。

令和8年4月の倒産件数は、137件(前年同月比6.2%増)となった。  
業種別件数ではサービス業(35件)、情報通信業(30件)、卸売業(21件)の順となった。  
原因別では、不況型倒産(販売不振・既往のシワ寄せ・売掛金等回収難)は95件となり、倒産件数における構成比は69.3%となった。

### (2) 多摩地域の状況

令和8年2月の倒産件数は、17件(前年同月11件)となった。  
業種別件数では、建設業、情報通信・運輸・郵便業、サービス業3件となった。  
原因としては、人手不足、物価高騰などがある。

令和8年3月の倒産件数は、21件(前年同月8件)となった。  
業種別件数では、建設業7件、小売業4件、卸売業3件の順となった。  
原因としては、人手不足、物価高騰などがある。

令和8年4月の倒産件数は、17件(前年同月20件)となった。  
 業種別件数では、サービス業6件、卸売業4件、建設業、情報通信・運輸・郵便業2件の順となった。  
 原因としては、人手不足、物価高騰などがある。

(3) 西東京市内の状況

令和8年2月の倒産件数は、1件(建設業)であった。  
 令和8年3月の倒産件数は、1件(サービス業)であった。  
 令和8年4月の倒産件数は、0件であった。

◎ 全体的な傾向の考察		
項目	指標	傾向
経済情勢	月例経済報告・地域経済動向・東京都中小企業の景況	月例経済報告・地域経済動向：緩やかな回復が続くことが期待されるが、中東情勢、物価高騰、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 東京都中小企業の景況：わずかに下向く。
西東京市倒産件数	都内の中小企業の倒産件数の合計	令和5年：5件 令和6年：5件 令和7年：6件